

公募審査（採択）結果の公表

令和4年4月27日
 経済産業省資源エネルギー庁
 省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課

事業名：令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社N X総合研究所	5010401051209	300,000,000

（提案事業者名）

①株式会社N X総合研究所

※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

（審査委員属性）

研究機関職員A

研究機関職員B

コンサルタント

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
株式会社N X総合研究所	35	43	36	114

提案事業者名	応募資格	提案内容	実施方法	実施体制	実施スケジュール	事業費	業務管理費	合計
株式会社N X総合研究所	適	22	19	35	10	10	18	114

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
株式会社N X総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・好事例の整理は重要と感じた。 ・各関係団体を通じた情報提供は有益だが、公募情報がスルーされないような工夫（公募説明会、事業紹介動画配信など）は検討いただきたい。 ・親会社が物流会社であり、事業上の連携から知見を蓄積されている。 ・当該業界に関する調査等を通じて知見を有していると認められる。 ・国の事業を経験している。一方で、補助金事業は経験ない点が少し懸念点であるが、間接事業者数がそれほど多くないことが想定されているため、許容範囲。 ・ポータルサイト立上については、既存の実績があるとのこと初期費用は軽減できるのではないかと考えた。 ・横展開のスケジュールの作成をあらかじめお願いします。 ・50%は超えてないが、それに近い。45%。この金額を計上するのであれば、募集に関する工夫（説明会など）も是非検討していただきたい。 ・外注比率が50%に近いので、管理をしっかりとお願いします。 ・自動化等のためのロボットやその他設備機器は、物流の現場の方々も知見があったり、イメージがついたりすることが想定されるが、AI/IoTの技術となると範囲が広く、また、どのような業務・利用シーンでメリットがあるのか、実際に実現可能性があるのか（技術の新規性と成熟度の兼ね合い等）判断ができないと思われるため、検討への取り組みが増えないことが懸念される。ついては、どのようなことを実現できる可能性があるのかの例示（システムイメージやそれを実現するハードとソフトウェア等）を広報段階で行うことを期待したい。 ・日本通運100%の子会社であり、物流に関する知見等は有していると認められ、本事業の実施は可能と史料。 一方で、特定企業の完全子会社であることが、間接補助事業者の募集、選定にあたって支障等が生じないかが気になるところ。 ・補助金執行の経験が近年ではないものの、事業目的や実施方法等の提案に問題はなく、執行団体としてふさわしいと考えます。